

(大浜浩志部長)

皆さん、こんにちは。沖縄県環境部長の大浜でございます。サンゴ大規模白化緊急対策会議の閉会にあたりまして、御挨拶を申し上げます。本日会場にお越しの皆様におかれましては、朝 10 時から長い時間に渡り御参加いただきまして、ありがとうございます。また、この会議の座長をお務めになりました、琉球大学名誉教授の土屋誠先生、そして各種御報告をいただきました関係者の皆様に改めまして心から御礼申し上げます。ここにお集まりの皆様のお尽力により、サンゴの大規模白化現象に関する緊急宣言が先ほど取りまとめられました。この緊急宣言に基づき、関係機関が連携して、それぞれの取組等をより一層推進していくことを祈念いたします。沖縄県におきましては、平成 22 年度からサンゴ礁保全再生事業を実施し、サンゴ礁再生に関する調査研究を行うとともに、遺伝的多様性に配慮したサンゴ群集を再生する実証試験に取り組んでまいりました。平成 29 年度から、新たに、サンゴ礁保全再生地域モデル事業におきまして、白化対策技術の開発や、サンゴ種苗の低コスト生産技術の開発の調査研究等を実施するとともに、モデル地域におきまして、自立的に運営できる仕組みを創出し、同事業の成功事例をモデルとして全県的に普及・啓発していきたいと考えています。また、沖縄県赤土等流失防止対策基本計画に基づく、赤土等流失防止対策等を推進することにより、陸域に由来する赤土等の土砂及び栄養塩等の負荷の軽減対策に努めていきます。さらに、サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムを推進するにあたり、地域の資源を保全・利用するためのルールである保全利用協定制度の普及にも取り組んでまいります。最後に今回の会議の開催にあたりまして、格段の御尽力をいただきました環境省の皆様、そしてこの会議に参加いただいたすべての皆様に心より感謝を申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。